



World renowned Japanese tableware

世界に誇る和製テーブルウェア

OLD NORITAKE

オールドノリタケと

and Nostalgic Ceramics

懐かしの洋食器

●休館日=月曜日 2009. 2月20日(金)～3月29日(日)

●開館時間= 火～金曜日(9:30～19:00) / 土・日曜日・祝日(9:30～17:00) 入室はいずれも閉館30分前まで / 初日は午前10時開展式

入場料 一般 700円(560円) 高・大生 500円(400円) 小・中生 300円(240円)

●()内は前売りおよび団体20名様以上の料金、前売りは美術館1階受付にて開展前日まで販売

●65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

*会期中の土曜日は小・中・高生入場無料(ただし3月28日は除く)

主催=高松市美術館 / 企画協力=株式会社アートプランニングレイ

Takamatsu City Museum of Art
高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel.087-823-1711
ホームページ <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/647.html>



森村組〈薔薇文砂糖入れ〉明治24～大正10年



日本陶器〈レース文ティーセット〉明治44～大正10年



日本陶器〈花文ティーセット〉(一部)大正10年頃



日本陶器〈幾何文蓋物〉明治41～昭和初期



日本陶器〈蝶文鉢〉明治44～大正10年



日本陶器〈オーブ文鉢〉大正7～昭和5年頃

わが国の洋食器生産は、明治維新の殖産興業政策の時代にヨーロッパの製陶技術やデザインを模倣・学習することから出発し、その過程で現在「オールドノリタケ」と呼ばれる輸出用陶磁器も生まれてきました。やがて第一次大戦の打撃で生産力を弱めたヨーロッパ製品に代わっての海外市場への躍進、世界恐慌による国内向け生産への転換へとめぐるしい時代の波を乗り越え、ヨーロッパのアル・ヌーボー、アル・デコなどの影響も受けて、日本人の好みにあった装飾手法を応用して和洋融合のデザインが生み出されます。そして都市の生活スタイルが急速に洋風化された大正から昭和初期の時代に至り、名実ともに日本独自の洋食器文化が花開くこととなるのです。

本展は、日本洋食器の変遷を文化史的な視点から捉えて収集してきた守屋知子氏のコレクションを中心とした200点余の作品により、こうした明治から大正期にかけての輸出陶磁器の定着と発展の歴史を概観し、世にいう大正ロマン、昭和モダンの時代に結実したオールドノリタケに代表される国産洋風陶磁器を一堂に会し回顧するものです。今に息づくすばらしいデザイン、懐かしい意匠をご堪能ください。

記念講演会

2月21日(土) 14:00
 講師:鈴木 潔氏(本展監修者/美術史家)
 会場:美術館1階講堂(先着200名 入場無料)

エントランスミニコンサート

3月20日(金・祝) 13:30～14:00
 オーボエ(國長文恵)とチェンバロ(石川陽子)アンサンブル
 会場:美術館1階エントランスホール(無料)

ギャラリートーク〈観覧券が必要〉

- 当館学芸員によるギャラリートーク
 2月28日、3月14日(いずれも土曜日) 14:00/展覧会場にて
- 美術館ボランティアcivi(シヴィ)によるギャラリートーク
 毎日曜日、祝日の11:00と14:00から/展覧会場にて

ワークショップ

- ◆洋食器の絵付けを体験しよう
 3月7日(土) 9:30～11:30(小中学生コース)、13:30～15:30(一般コース)/講師:織田達也氏(陶芸家)/美術館3階講座室にて/受講料500円(別に材料費が必要)/各コース定員20名(事前申し込み先着順)
- ◆鑄込みと一陳盛り オールドノリタケの技法を体験!
 3月21日(土) 14:00～16:00/講師:亀井洋一郎氏(陶芸家)/美術館3階講座室にて/受講料500円(別に材料費が必要)/定員15名(小学生～一般、事前申し込み先着順)

いずれも申し込みは高松市美術館 Tel.087-823-1711まで

その他催しのお知らせ

- (詳しくは美術館ホームページ等で)
- 2月15日(日) 糸崎公朗ワークショップ ●2月22日(日)・3月1日(日) 子どものアトリエVol.20千葉尚実 ●(3月開催予定) 名和晃平ワークショップ ●3月14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日) トーク&アクト

次回の特別展

加山又造展 4月17日(金)～5月31日(日)

World renowned Japanese tableware

OLD NORITAKE and Nostalgic Ceramics



日本陶器〈幾何文蓋物〉大正末～昭和初期



日本陶器〈婦人文煙草入れ〉大正7～昭和5年頃



交通のご案内

JR四国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分
 ことんでん-瓦町駅、片原町駅下車、徒歩10分
 バス路線-(ショッピング・レインボー循環バス) 紺屋町バス停下車、徒歩3分
 (まちバス) 丸亀町バス停下車、徒歩2分
 駐車場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)